会社概要

商　　号	ムラキ株式会社
英 訳 名	MURAKI CORPORATION
本店所在地	〒206-0011 東京都多摩市関戸2-24-27 三ツ木聖蹟桜ヶ丘ビル　5F TEL 042-357-5600 FAX 042-357-5606
創　　業	昭和21年2月1日
設　　立	昭和32年11月15日
資 本 金	19億1,070万円 (平成28年3月期)
従業員数	256名

役　員 (平成28年3月31日現在)

取締役会長	田中舘　喬
代表取締役社長	永井清美
常務取締役	関冨直彦
取締役	野口顕一
常勤監査役	吉田　誠
監査役	長澤正浩
監査役	川口幸信
執行役員経理部長	上中良典
執行役員総務人事部長	大矢敏之
執行役員販売部長	柳田任俊

HPのご案内

当社ホームページでは企業情報や財務情報をはじめとした最新情報がご覧いただけます。

http://www.muraki.co.jp/

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120-782-031（フリーダイヤル）
公告掲載新聞名	日本経済新聞

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

VEGETABLE OIL INK

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

MURAKI

Business Report 2016

第58期 株主通信

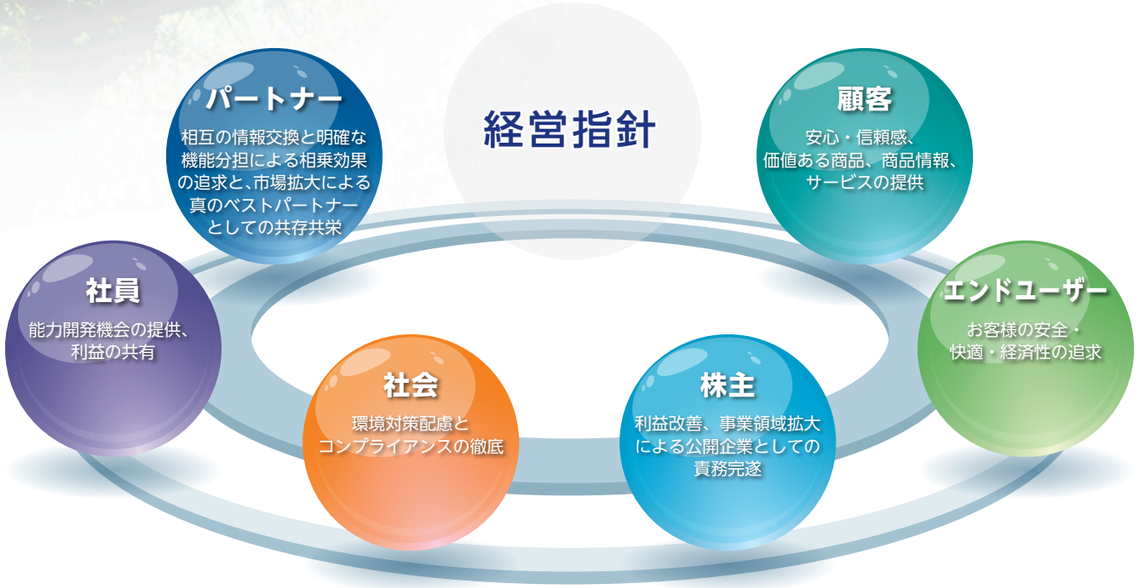
平成27年4月1日～平成28年3月31日

ムラキ株式会社

証券コード：7477

ムラキは「人が好き、車が好き」「ヒューマンカーライフの創造を通じ社会に貢献する」ことを念じています。

ムラキは、国内石油元売会社の7割と提携し、
サービスステーションの約25％（12,000ヵ所）をお客様とする総合商社です。
日本のカーライフの発展・充実に大きく貢献しています。



『勝つための戦略』を推進いたします。

① 基本営業の標準化
②《MURAKI PROJECT》の全国推進

この2つの定義を基に戦略を展開・実行し通期での増収・増益を目指してまいります。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第58期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概要をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
永井　清美

第58期を振り返って

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション（略称：SS）業界においては、年間を通じて燃料価格が乱高下を繰り返した結果、顧客の買い控え意識の増幅から最も影響を受けたのがカーメンテナンス商品であり、当社も甚大な影響を受けました。商品別では当社の主力販売商品（基本4品）において、洗車機洗剤が計画値を上回った以外、残り3品合計は計画値を下回りました。また、前年に展開したM-WING関連商品に続き当期のムラキプロジェクトの新企画であるウェイティングルーム企画の進捗が思わしくなく、ムラキプロジェクトの第4弾にあたるMSP-Digitalの展開を来期以降に先送りしたことも要因のひとつと考えられます。

平成27年7月及び12月に大手石油元売会社の経営統合が発表されたことによって、SSの効率化に拍車がかかり、急激な市場環境の悪化をもたらしました。

次期の見通しについて

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題であると認識し、業績に応じた継続的な利益配分を実施することを基本方針としております。

当社を取りまく市場環境は元売石油会社の2強化時代への突入により、効率経営によるSSの整備が加速され、SS用品業界も大きな影響を受ける状況が予想されます。

このような市場環境を踏まえ当社グループは石油元売会社の経営統合による当社の商品在庫金額の圧縮とSSの統廃合自体を当社の効率化に繋げてまいります。

加えて次期より当社グループに新たに株式会社ミツワ商会が加わり業績そのもののみならず経営資源のより有効な活用から多角的なシナジー効果を創出してまいります。

更に次期の当社はムラキプロジェクトの集大成でもあるMSP-Digitalを原動力にカーメンテナンスの収益向上策の提案及び販売に努めてまいります。

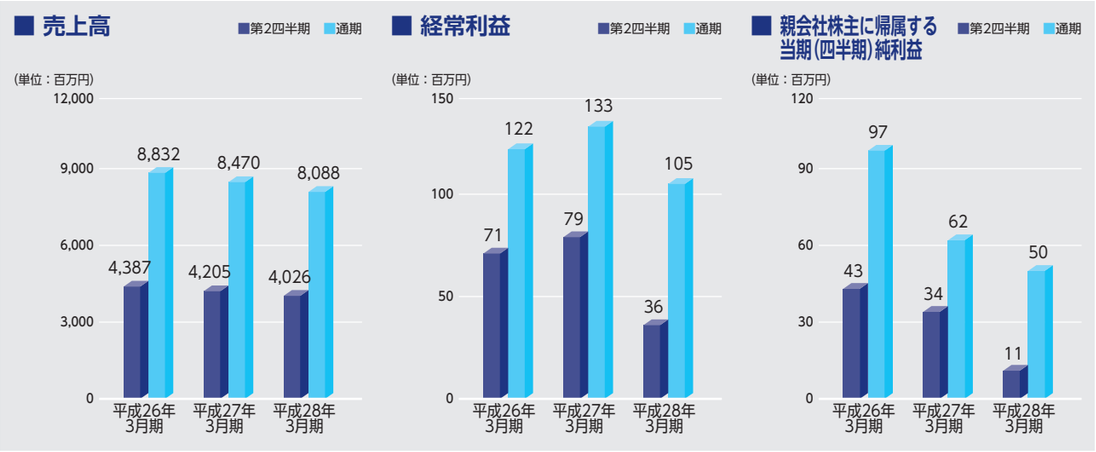
株主の皆様へ

当社にとっては、お客様との強い絆の維持が当社の成長を支えており、また、今後の成長を支え続けるものであります。ひいては、株主の皆様の利益に繋がるものであると確信しております。こうしたお客様との強い絆が、株主の皆様をはじめとする全てのステークホルダーから信頼される企業となるため、コーポレート・ガバナンスの充実を経営上の重要な課題と位置づけ、企業倫理と遵法を徹底するとともに、リスク管理を含めた内部統制システムを整備し、経営の効率性、透明性を確保しております。

また、当社といたしましては、トータルカーライフサポートを実現するために快適な空間創りを目指して活動を実施しております。その活動を通してさまざまなSS特約店様から「顧客に対しての告知・情報の伝え方や社員教育」のご相談を頂く事が多くなりました。このことは、当社の長年のノウハウを生かしたプロジェクトの展開で情報や知識をお客様へ「つなげる」ことが可能になり、お客様に喜んで頂けることと確信しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

FINANCIAL HIGHLIGHT ［財務ハイライト］



MURAKI PROJECT 2013年 ～ 2014年 ～ 2015年

快適新空間 トータルカーライフサポートビジネスを実現します。

トータルカーライフサポートを実現するため2013年より、快適新空間を求め、《店頭空間》と《店内空間》のSSリノベーションを提案しております。

MURAKI PROJECT 2016年 ～ 2017年

MSP-Digital

『つなぐ・つながるきっかけツール』

カーメンテ・ケアの必要性をユーザーへ伝えきれなかった情報を正確に伝えます。
SSスタッフの知識向上にもつながります。

ムラキ独自のコンテンツ **おかげさまで、好評発売中！**

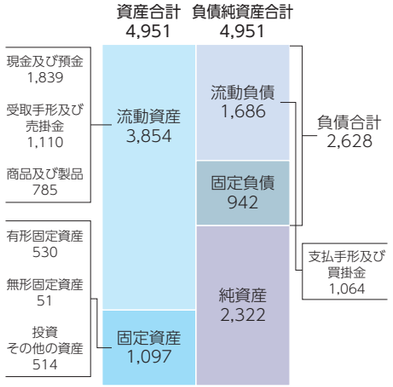
店頭空間の演出

MURAKI PROJECTは2013年より快適な空間創りを目指し提案してまいりました。
その活動を通して様々なSS特約店様から『顧客に対しての告知・情報の伝え方や社員教育』のご相談をいただく例が多くありました。そこで、新たなサポートツールとして『消費の現場に一番近いメディア』と今、最も注目されているデジタルサイネージを2016年4月にSS業界に向けて販売を開始しております。

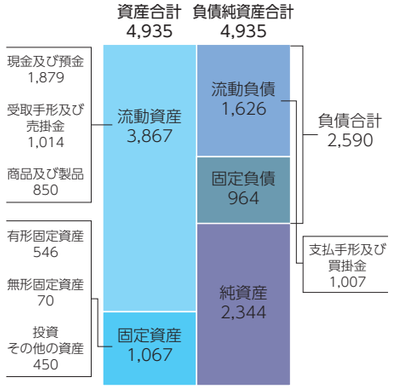
ムラキのデジタルサイネージは

ムラキのノウハウを活かしたカーメンテ・ケア[オイル・車検・洗車など]の情報や知識で顧客へ『つながる』SS業界初のコンテンツにて放映しております。

■ 連結貸借対照表の概要 （単位：百万円）



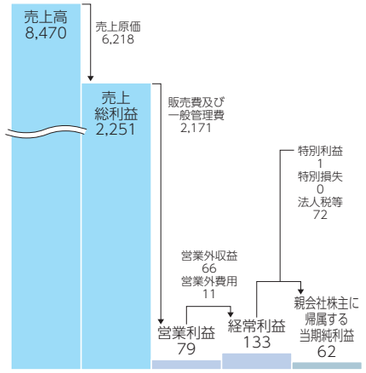
前期末
平成27年3月31日現在



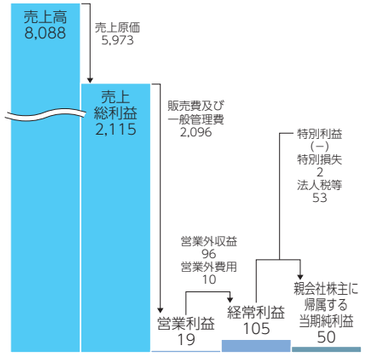
当期末
平成28年3月31日現在

■資産
現金及び預金が増加し、受取手形及び売掛金が減少したことと投資その他の資産が減少しました。
この結果、総資産は4,935百万円になりました。
■負債
支払手形及び買掛金が減少しました。
この結果、負債合計は2,590百万円になりました。
■純資産
純資産は増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。
この結果、自己資本比率は47.5%となりました。

■ 連結損益計算書の概要 （単位：百万円）



前期
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



当期
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

■売上高
当連結会計年度における顧客の買い控え意識の増幅から影響を受け当初予想を下回り、売上高8,088百万円（前年同期比4.5%減）となりました。
■営業利益
当連結会計年度における、主力事業である「カーケア関連商品販売」事業の主力販売商品（基本4品）において、洗車機洗剤が計画を上回った以外、残りのオイルエレメント・ワイパーブレード・バッテリーが計画を下回ったことから営業利益が減益となりました。

北海道支店

東北支店
青森営業所
八戸出張所
盛岡営業所
仙台営業所
山形出張所
郡山営業所

北関東支店
水戸営業所
土浦営業所
宇都宮営業所
高崎営業所
新潟営業所

首都圏支店
川口営業所
川越営業所
千葉営業所
市原営業所
松戸出張所
東京営業所
西東京営業所

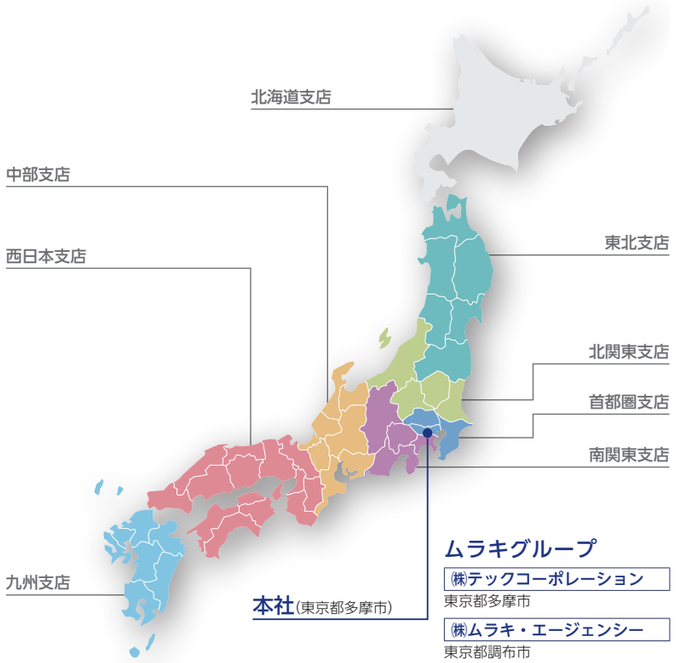
南関東支店
横浜営業所
小田原営業所
静岡営業所
沼津出張所
浜松営業所
甲府営業所

中部支店
名古屋営業所
小牧出張所
津営業所
富山営業所
金沢営業所

西日本支店
大阪営業所
京都出張所
姫路出張所
広島営業所
岡山出張所
高松営業所
徳島出張所
松山出張所

九州支店
福岡営業所
北九州出張所
熊本出張所
長崎出張所
鹿児島営業所
宮崎出張所

物流センター
関東物流センター
（埼玉県児玉郡）



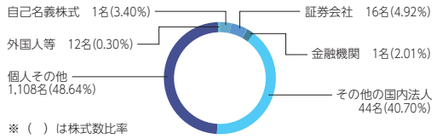
大株主

株主名	当社への出資状況 持株数
有限会社ドリーム・ワークス	2,550 千株
甲陽株式会社	2,500
村木ミチ	1,123
ムラキ社員持株会	505
エイケン工業株式会社	460
日本証券金融株式会社	296
株式会社SBI証券	290
ムラキ取引先持株会	270
林和男	239
高橋重信	170

株式の状況

発行可能株式総数…… 50,000,000株
発行済株式総数…… 14,700,000株
株主数…… 1,182名（前期末比91名減）

所有者別株式分布状況



※（ ）は株式数比率